



第 62 回中・四国小学校体育研究大会（愛媛大会）を終えて

中・四国小学校体育連盟

愛媛県小学校体育連盟

会長 山本 智啓

「いで湯と城と文学のまち」松山市にお越しいただき、第 62 回中・四国小学校体育研究大会（愛媛大会）を松山市立北条小学校にて開催できましたこと、大変光栄に存じます。

当日は、中・四国各県より 550 名の先生方にご参加いただき、本研究大会を盛大に開催することができました。中・四国小学校体育連盟及び愛媛県小学校体育連盟スーパーバイザー愛媛大学教育学部長日野克博先生にもご講演を賜り、適切で温かいご教示をいただきました。またご参加の先生方からもご指導・ご意見や激励などをたくさんいただきました。皆様方のおかげで多くの成果と今後の研究の課題をいただけたものと感謝しております。

私たち愛媛県小学校体育連盟は本大会主題「子どもがつなぐ 愛顔あふれる体育学習」の下、愛媛県下全 16 郡市で全領域を分担し、「教材とつながる」「仲間とつながる」「自分とつながる」の三つの視点を県下で統一し、「オール愛媛」で実践研究を推進してまいりました。もちろん会場校であります毛利校長先生を始めとする北条小学校の先生方の長年に渡る体育授業に対する真摯な取組も忘れることができません。そしてそれを支える愛媛県小学校体育連盟の本部役員の先生方、領域ごとに本連盟と一丸となって研究を推進してきた各郡市小学校体育連盟の取組。さらに授業者と連携し支えてくださった指導助言の先生方。まさに「オール愛媛」であり「チーム愛媛」で取り組んできた結集だったとありがたく思っています。

本研究大会の公開授業では、北条小学校の子どもたちと先生方からは研究の成果はもちろん、随所に愛顔あふれる姿を見ることができました。また、授業協議では活発な意見交換がなされる中で、よりよい方向に進んでいくための温かいご意見をいただきました。県内・県外提案では、本県及び各県の先生方から貴重な研究実践が提案され、建設的な協議や適切にご指導・ご助言をいただき今後の中・四国体育の充実・発展に向けた時間となりました。講演では、日野克博先生より愛媛県小学校体育連盟のこの 9 年間の取組について総括していただくとともに、当日の授業も踏まえ、これからの体育研究の展望等について、分かりやすく、そして心に響く講演をしていただきました。たくさんの方々のご尽力があって、今後につながるすばらしい大会になり得たものと深く感謝申し上げます。愛媛県小学校体育連盟としましても、これからの体育研究に必ずや生かしていく所存です。本当にありがとうございました。

結びに、本大会の開催に当たり、温かいご指導・ご支援を賜りましたスポーツ庁、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会を始め、各市町教育委員会、中・四国各県小学校体育連盟並びに関係諸団体、関係の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。さらに会場校として研究実践を真摯に積み重ねられ、公開授業を提供してくださった松山市立北条小学校の皆様にご心から敬意と感謝を申し上げます。そして次年度の第 63 回中・四国小学校体育研究大会（島根大会）の成功を心よりご祈念申し上げましてお礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

第62回中・四国小学校体育研究大会（愛媛大会）

愛媛大会におけるアンケートの記入にご協力いただき、ありがとうございました。

中・四国小学校体育連盟では、皆様からのご意見・ご感想を生かし、実際の教育現場に役立つ研究大会をめざしていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

大会主題について

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた考え方で研究の方向性が分かりやすく、どの学習も三つの視点で取り組んでいて、県全体が同じ方向で取り組んでいるのが分かった。
- 子どもたちが主体的に学ぶ姿や友達に対して肯定的な言葉掛けをする姿が多くあった。子どもたちが「愛顔」だったのは、先生が誰よりも愛顔だったからだと感じた。

提案授業Ⅰ及び授業協議について

<1年 器械・器具を使っの運動遊び>

たくさん場があり、子どもが単元の学習の見通しを持って主体的に遊んでいた。教師も生き生きと活動されていたのが印象的である。

<4年 ゲーム>

シッティングで行うことにより、運動が苦手な子どもにとって楽しみやすいものだった。全員参加・全員の楽しさを保証していく取組について理解深められた。また、子どもたちが力の差をなくす工夫を意欲的に考え、みんなが楽しめるゲームを大切にし、子どもの意見を尊重しながら授業をつくりあげる姿勢が印象的だった。

<5年 保健>

保健の授業は教科書に沿ってそのまま進めがちであるが、心の健康を保つ方法を各自が用意して、グループ内で体験・共有するという学習展開が新鮮だった。また、養護教諭がTTで入ることで、より子どもに心と体の健康の重要性が伝わった。

<6年 ボール運動>

ボールの工夫により技能が身に付いていたし、子どもたちが思考し、作戦を考えたりコートが空いているところを探したりすることができていた。自分たちで動き、話し、試す仕掛けがたくさんあり参考になった。運動能力の高い子どもだけのゲームにならないようにしているのだろうと思った。

提案授業 2 及び授業協議について

< 2 年 走・跳の運動遊び >

手作りの用具等を自分たちで並び替えながら、生き生きと走ったり跳んだりしている姿がよかった。低学年でも自分で場をつくる活動は魅力的だった。

< 3 年 体づくり運動 >

道具の種類や数が豊富でたくさんの場があり運動量が確保されていた。また、班で協力しながら子どもたちがコースを作り、生き生きと活動している姿が印象的だった。

< 4 年 保健 >

担任の先生の例を取り上げたことが子どもにとって身近に感じやすく、考えやすかったと思う。子どもが使用したシートが分かりやすくてよかった。養護教諭との関わり方もよかった。

< 5 年 表現運動 >

オリンピックという題材に場所などの条件をいれることで、新たなイメージが湧いて、ただのスポーツを模した動きから脱却できたのではないかなと思う。また、教師が教える立場ではなく、ファシリテーターの立ち場で進められていて、アクティブ・ラーニングをする上での教師の姿を学ぶことができた。

分科会（県内・県外芸案発表）について

- アプローチの仕方こそ違いが、みんなが参加したくなる・みんなが上達を体感できる・みんながうまくやれるように知恵を絞るなど、これからの体育に必要なことがたくさん出ていて本当によかった。
- 県によって考えは異なるが、夢中になって運動に取り組む子どもの姿を大切にするという考えは共感できた。
- 協議をする中で、考えの幅が広がった。また、参考になるものが多かった。
- 司会、運営がスムーズだったが、意見が出ない場合は近くの先生同士で話す時間を取ってもよかった。また、質疑応答が 10 分と短かった。他県の先生の意見などもたくさん聞ける機会でもあり難しいとは思いますがもう少し長くしてもよい。

参加人数について

愛媛	島根	香川	岡山	徳島	広島	高知	山口	鳥取	合計
331	38	7	23	14	13	6	11	19	559

※ 中・四役員 80 名、中・四国外 1 名（滋賀県）、当日参加 16 名含む